

生誕一五〇年記念展

最後の浮世絵師

尾竹国一



AMAZING TOYAMA

写真上り「備前氏様ゆか下」(国形重要有形民俗文化財) 3月13日より展示、市川団十郎の不滅侍左門と中村錦助の名屋山二、役者見立浦島兜重記阿古屋セメの段、以上、富山市史料資料館蔵
「市原野を夜景の図」(宝館蔵)

平成30年

2月3日 [土] ▼ 4月15日 [日]

※会期中、一部展示替えがあります

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 3月12日(月)

観覧料 大人210円(160円) 高校生以下は無料

※(内は、20名以上の団体料金)

主催 富山市、富山市教育委員会

TOYAMA MUNICIPAL FOLK MUSEUM
富山市郷土博物館



生誕一五〇年記念展

最後の浮世絵師

お たち くに かず
尾竹国一

浮世絵版画は、江戸時代の庶民が生み育てた絵画であり、富山町でも、天保年間（一八三〇～四四）頃には活版で発行されるようになりました。この富山浮世絵版画は、錦絵や絵紙などと称されましたが、主な用途が売薬進物であったため、現在では「売薬版画」と呼ばれています。

明治二十年代に入ると、東京では浮世絵版画の衰退が目立ち始めましたが、富山では売薬版画の発行が最盛期を迎えようとしていました。それに合わせるように明治二十三年頃、富山にやってきたのが、新潟出身の絵師、尾竹国一（後の越堂）です。明治三十二年に富山を離れるまで、役者絵を中心に多数の作品を手がけ、明治時代の売薬版画を代表する絵師となっています。また、その経歴は浮世絵の終焉期とも重なっており、豊原国周や小林清親とともに、「最後の浮世絵師」と呼ぶことができるのです。今回は、国一が描いた役者絵を中心に、売薬版画など約三十点を展示します。「最後の浮世絵師」尾竹国一の富山の仕事ぶりをぜひご覧ください。



【前期展示】 義経千本桜
(富山市売薬資料館蔵)
[国指定重要有形民俗文化財]



【前期展示】 雲雀山姫捨松
(富山市売薬資料館蔵)
[国指定重要有形民俗文化財]



【後期展示】 蝶千鳥夜討曾我
(富山市売薬資料館蔵)
[国指定重要有形民俗文化財]



俳優見立水湖伝
(当館蔵)

前期展示 3月11日まで、後期展示 3月13日より

会 期 平成30年2月3日(土)～4月15日(日)
休館日 3月12日(月)
開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

観覧料 大人210円 高校生以下は無料
※この料金で、常設展示もご覧いただけます。

学芸員による展示解説会

2月25日(日)、3月18日(日)、
4月15日(日) いずれも午後2時より
予約不要、参加無料(ただし、入館料が必要です)

関連企画

富山県水墨美術館 「生誕140年 尾竹竹坡展」

尾竹国一の弟竹坡の初めての回顧展。その画業の全体像を、初期から晩年まで代表的な作品で紹介します。

会 期 平成30年2月16日(金)～3月25日(日)
休館日 月曜日、3月22日(木)
観覧料 一般900円、大学生650円

■アクセス

北陸新幹線・あいの風とやま鉄道 富山駅から徒歩約10分
地铁バス「城址公園前」下車 徒歩2分
市内電車環状線「国際会議場前」下車 徒歩3分
富山空港より連絡バスで20分
北陸自動車道 富山ICより車で約15分

■駐車場

当館には専用駐車場はありません。最寄りの有料駐車場をご利用ください。最も近いのは城址公園地下駐車場です。



富山市郷土博物館

TOYAMA MUNICIPAL FOLK MUSEUM
〒930-0081 富山市本丸1-62 富山城址公園内
TEL:076-432-7911 FAX:076-432-8060
http://www.city.toyama.toyama.jp/etc/muse/